# 表 I -2.5.1 様式-3(1):型 00-1 概查調查票:施設群総括評価用

-		の場合に用いる	(個別の施設として	評価する場合は	The second of the second		経度
点検牟	F月日	1 1	天候		点検者		
区域名			地すべりブロック名	8	施設群名		施工年度
造/林			施設群構成·形状				
各施	設の評価確認	個別施設の評	価結果を記入し、施	設群の総合的な	ご評価を行う。(そ	存在しない又は未研	確認の施設は空欄とする
		施設名		個別施設の 健全度 (i~iv) i Aのみ ii A~B含む iii A~C含む	施設周辺地盤状況問題なし	個別施設の 総合評価 (対応の目安) 問題なし 監視 軽微な補修 補修・更新	特記事項 (個別施設状況等)
号	(施設番号等	個別施設名	備考(工種/構造等)	iv A~D含む	問題あり	要詳細調査	
1							
2							
3							
4							
5							
6						1	
7		+				+	
9		+				+ +	
0							
10 11 12 <b>加</b>	<b>西設群の健</b> 別施設の健全原 路線)図等	度に基づいて決定	IIIIV)				IV : i ~ iv 含む 】 プ <sup>クコメント等を記入</sup>
10 11 12 <b>加</b>	川施設の健全原	全度 度に基づいて決定	I I II IV ) きする【 I				
10 11 12 方面 個別	施設の健全原路線   路線  図等	全度 度に基づいて決定 施設群内にお	I II II IV) 注する 【 I ける個別施設の位置	置関係や他施設。	との接続等につ	いての図(路線図)	やコメント等を記入
10 11 12 方	施設の健全原路線   路線  図等	全度 (を を (を (を (を) (を) (を) (を) (を) (を) (を)	I II II IV ) 全する 【 I ける個別施設の位置 の該当する選択肢にC	置関係や他施設。	との接続等につ	いての図(路線図)	「対応の目安」を示す。
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	が が が が が が が が が が が が が が	全度 (で基づいて決定 施設群内にお を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	I II II IV ) 全する 【 I ける個別施設の位置 の該当する選択肢にC	置関係や他施設。	との接続等につ	いての図(路線図)	やコメント等を記入
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	施設の健全k   路線  図等   ア価 <u>施設</u>   でである。   では、   でも、   でも。   でも。   でも。   でも。   でも。   でも	全体の総合評価 判断の目安(原 設群全体の健全	I II III IV ) 全する 【 I (ナる個別施設の位置 の該当する選択肢にC 則、判断の目安に沿っ	置関係や他施設。	との接続等につ	いての図(路線図)	「対応の目安」を示す。
個別配置的	施設の健全   (路線) 図等   評価	度に基づいて決定 施設群内にお 施設群内にお 判断の目安(原 設群全体の健全 設群全体の健全	I II III IV ) 全する 【 I ける個別施設の位置 の該当する選択肢にC 則、判断の目安に沿っ 全度がIである場合	置関係や他施設。	との接続等につ	いての図(路線図)	「対応の目安」を示す。
10 11 12 方 個別 個別 総合 対応 軽	川施設の健全原 (路線)図等 評価 施設者 の目安 問題なし 施 監視 施 微な補修 施	度に基づいて決定 施設群内にお 施設群内にお 判断の目安(原 設群全体の健全 設群全体の健全	T TT TT TV ) Pする 【 I ける個別施設の位置 の該当する選択肢にC 則、判断の目安に沿っ E度がIである場合 E度がIである場合	ででである。 で選択する。原則	との接続等につ がら施設管理者 とは異なる選択	いての図(路線図) そへの伝達事項として をする場合は理由を	「対応の目安」を示す。 コメント欄に必ず記入する。
10 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 1	川施設の健全点 (路線)図等 評価 <u>施設</u> 問題なし 施 監視 施 微な補修・更新 施	を (まする) (まます。) (まます。) (まます。) (ままず) (まままず) (まままず) (まままず) (まままず) (まままます) (まままます) (ままままます) (まままままままままままま	I II III IV ) をする 【 I ける個別施設の位置 の該当する選択肢にC 則、判断の目安に沿っ を度がIである場合 を度がIIである場合	でででである。 で選択する。 原則 の要因が明らかで	との接続等につ がら施設管理者 とは異なる選択 をある場合や対	いての図(路線図) ないての図(路線図) ないての図(路線図) での伝達事項として をする場合は理由を で方法が明確な場	「対応の目安」を示す。 コメント欄に必ず記入する。
10 11 12 加州 個體 総分応 整 報 要 対	川施設の健全名 (路線)図等 評価目なま 問題な神術を更し 監視な神新査施施 施修・更新査施施施 施修・更新査を加速を表する。	を (まする) (まます。) (まます。) (まます。) (ままず) (まままず) (まままず) (まままず) (まままず) (まままます) (まままます) (ままままます) (まままままままままままま	TITIV) 定する【 I ける個別施設の位置 の該当する選択肢にC 別、判断の目安に沿っ 定がIである場合 定がIである場合 定がIである場合 定がIであり、かつ に度がIVであり、かつ は結散 状況と	でででである。 で選択する。 原則 の要因が明らかで	との接続等につ がら施設管理者 とは異なる選択 をある場合や対	いての図(路線図) ないての図(路線図) ないての図(路線図) での伝達事項として をする場合は理由を で方法が明確な場	「対応の目安」を示す。 コメント欄に必ず記入する。
10 111 112 加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加	川施設の健全名 (路線)図等 評価目なま 問題な神術を更し 監視な神新査施施 施修・更新査施施施 施修・更新査を加速を表する。	を ( ) を (	T T T IV )  Pする 【 I  I  I  II IV )  Pする 【 I  I  I  I  IV )  Pする	でででである。 で選択する。 原則 の要因が明らかで	との接続等につ がら施設管理者 とは異なる選択 である場合や対	いての図(路線図) ないての図(路線図) ないての図(路線図) での伝達事項として をする場合は理由を で方法が明確な場	「対応の目安」を示す。 コメント欄に必ず記入する。
10 11 11 12 分 個置 総対応 合対応 軽 報 要 対要	施設の健全名   (路線)   図等   (路線)   図等   (路線)   図等   (田本の目を 文 記 記 記 社 本	を ( ) を (	T T T IV )  Pする 【 I  I  I  II IV )  Pする 【 I  I  I  I  IV )  Pする	ででである。 点検者のて選択する。 原則の要因が明らかでの要因が明らかでの要因が明らかで	との接続等につ がら施設管理者 とは異なる選択 である場合や対	いての図(路線図) ないての図(路線図) ないの伝達事項として をする場合は理由を 応方法が明確な場	「対応の目安」を示す。 コメント欄に必ず記入する。

# 表 I -2.5.2 様式-3(1):型 O1-1 概查調查票:水路工

<水路工			and the same of th	to the said that the said the								
		L種を必ず確認	The state of the s	は様式-3(1)型00-1	緯度				経	度		
点検年月	月日		天候	点	検者							
区域名			地すべりブロック名		施設名					施工年	度	年
構造/材質	Ĩ		幅	高さ	延長		(調査	票番	号:			)
■現地確認	認事項											
施設状況	種類	排水路 排水路	工 口 承水路工	日 暗きょエ 日	明暗きょエ		他 (			)	TEN 259	きあり
漏水状況	流量(上	流) 1	/分 流量(下流)	1/分 漏	水可能性	有 無	不明	(		)	問題	書あり
流末状況	記 流末位	置		□ 流水あ	) : 流量	最(最大)		- 3	1/分		問題	あり
水質状況	計測値	等									問題	語あり
観測施設	計測器	名									問題	意あり
■部位の	変状レベ	ル 各項目で当ては	はまる状況の番号を記	スし、最も悪い状態につ	いてレベルギ	制定する	また、	判定	規拠と	する写	草番号	を示す。
工租	重·部位	項目		常な状況がない場合は0 合的な状況その他の場			a 1	1	状レ d	ベル該当写	-	②部位の 健全度 (A~D)
		破損·欠損	1.欠損·2.	ひび割れ·3.摩耗						18000000		93(0.49)
-	LL is	変位·変形		ずれ(目地切れ等)・3.逆勾	記	-		1				
口水	路部	腐食	1.発錆	TO PLANE IN THE STATE OF THE STATE OF				1				
		閉塞・埋没	1.土砂堆和	責·2.落葉等堆積·3.植	物侵入・4.そ	の他						
口暗	きょ部	閉塞・埋没	1.吐口部(	の閉塞・2.吐口周辺の	埋没							
		破損·欠損	1.欠損・2.7	ひび割れ·3.摩耗								
本	1.41	変位・変形	1.ずれ(目地	<b>動切れ等)・2傾倒・3.沈</b>	F							
体 口 集	水升	腐食	1.発錆	33.02								
		閉塞·埋没	1.土砂堆和	責·2.落葉等堆積·3植	勿侵入・4.そ	の他						
N.		破損·欠損	1.欠損・2.7	ひび割れ・3.目地切れ	4.摩耗							
		変位·変形	1. ft 1.	2傾倒 ・3.沈下								
口落	差工	腐食	1.発錆									
		閉塞·埋没	1.土砂堆和	責·2.落葉等堆積·3.植	物侵入・4 そ	の他						
※①変状!	レベル(a・	~d)、②部位の健全	K路工、暗きょ工、明 全度(A∼D)、③施設	の健全度( i ~iv )の	順に各々最	〔 [最	も悪い部	位の健全	全度に	( i ~ iv 基づいて決 記設全体	定	西する。
※①変状Ⅰ ③ ← 施 Ⅰ 部	レベル(a・ - ② ← B A 変	~d)、②部位の健全 ① a :項目に挙げた	全度(A~D)、③施設 現象・状況が見られな	の健全度( i ~ iv )の 評( にい、もしくは目視困難な	順に各々最 西指標 ほど軽微であ	も悪い	も悪い部 平価を	統合し	全度に	基づいて決 記設全体 機能低下	を評価してい	ない状態
※①変状I ③ ← 施設の健 iii (健	レベル(a・ ② ← 要状 レベ	~d)、②部位の健全 ① a :項目に挙げた b :項目に挙げた	を度(A~D)、③施設 現象・状況が見られな 現象・状況に対し軽微	の健全度( i ~ iv )の 評( にい、もしくは目視困難な な変状がある …(本)	順に各々最 西指標 ほど軽微であ 質的に支障は	も悪いる	を で	統合し	全度に ・・・・(根 能低	基づいて決 記設全体 機能低下 下を招く?	を評価してい恐れが	ない状態
※①変状□ ③ ← 施設の健全 iii 回の健全	レベル(a・ ② ← B A 変状レベ	-d)、②部位の健全 ① a :項目に挙げた b :項目に挙げた c :項目に挙げた	全度(A~D)、③施設 現象・状況が見られな 現象・状況に対し軽微 現象・状況に対し限定	の健全度(i ~iv)の 評( にい、もしくは目視困難な な変状がある …(本) 的(局所的)ではあるが	順に各々最 西指標 ほど軽微であ 質的に支障は 明らかな変状	も悪い。	平価を収置す	統合し	金度に	基づいて決 記設全体 機能低下 下を招くな (機能低	を評価してい 恐れが 下して	ない状態 ある状態 いる状態
※①変状 施設の健全 ※①変状 が施設の健全	レベル(a <sup>-</sup> ② ← 変状レベル	-d)、②部位の健全 ① a :項目に挙げた b :項目に挙げた c :項目に挙げた d :項目に挙げた	全度(A~D)、③施設 現象・状況が見られな 現象・状況に対し軽微 現象・状況に対し限定 現象・状況に対し居産	の健全度(i ~ iv)の 評値にい、もしくは目視困難なな変状がある … (本) (的(局所的)ではあるが い変状がある	順に各々最 西指標 ほど軽微であ 質的に支障は 明らかな変状	も悪い。	平価を収置す	統合し	金度に	基づいて決 記設全体 機能低下 下を招くな (機能低	を評価してい 恐れが 下して	ない状態 ある状態 いる状態
※①変状 ③ ← 施設の健全度 ii ii iv	レベル(a <sup>-</sup> ② ← 変状レベル	wd)、②部位の健全 ① a :項目に挙げた b :項目に挙げた c :項目に挙げた d :項目に挙げた	全度(A~D)、③施設 現象・状況が見られな 現象・状況に対し軽微 現象・状況に対し限定 現象・状況に対し著し に影響する変状があ	の健全度(i ~ iv)の 評値い、もしくは目視困難なな変状がある … (本) (的(局所的)ではあるが しい変状がある	順に各々最 西指標 ほど軽微であ 質的に支障は 明らかな変状	も悪い。	平価を収置す	統合し	金度に	基づいて決 記設全体 機能低下 下を招くな (機能低	を評価してい 恐れが 下して	ない状態 ある状態 いる状態
※①変状 ③ ← 施設の健全度 ii ii iv	レベル(a <sup>-</sup> ② ← 変状 D × ルベル	wd)、②部位の健全 ① a :項目に挙げた b :項目に挙げた c :項目に挙げた d :項目に挙げた	全度(A~D)、③施設 現象・状況が見られな 現象・状況に対し軽微 現象・状況に対し限定 現象・状況に対し居産	の健全度(i ~ iv)の 評値い、もしくは目視困難なな変状がある … (本) (的(局所的)ではあるが しい変状がある	順に各々最 西指標 ほど軽微であ 質的に支障は 明らかな変状	も悪い。	平価を収置す	統合し	金度に	基づいて決 記設全体 機能低下 下を招くな (機能低	を評価してい 恐れが 下して	ない状態 ある状態 いる状態
※①変状 ③ ← 施設の雙全度 iii iv 施設内間 施設内間 施設内間 iii iv	レベル(a <sup>-</sup> ② ← 変状 D × ルベル	wd)、②部位の健全 ① a :項目に挙げた b :項目に挙げた c :項目に挙げた d :項目に挙げた	全度(A~D)、③施設 現象・状況が見られな 現象・状況に対し軽微 現象・状況に対し限定 現象・状況に対し著し に影響する変状があ	の健全度(i ~ iv)の 評値い、もしくは目視困難なな変状がある … (本) (的(局所的)ではあるが しい変状がある	順に各々最 西指標 ほど軽微であ 質的に支障は 明らかな変状	も悪い。	平価を収置す	統合し	金度に	基づいて決 記設全体 機能低下 下を招くな (機能低	を評価してい 恐れが 下して	ない状態 ある状態 いる状態
※ 3 ← m m w m w m w m w m w m w m w m w m w	レベル(a <sup>2</sup> ) ← 変状 → 変状 → 変状 → 次ル 辺地盤状	wd)、②部位の健全 ① a :項目に挙げた b :項目に挙げた c :項目に挙げた d :項目に挙げた d :項目に挙げた 元 施設機能 □ 施設機能	全度(A~D)、③施設 現象・状況が見られな 現象・状況に対し軽微 現象・状況に対し限定 現象・状況に対し著し に影響する変状がな に影響する変状がな	の健全度(i ~ iv)の 評値い、もしくは目視困難なな変状がある … (本) (的(局所的)ではあるが しい変状がある	順に各々最 面指標 ほど軽微であ 質的に支障は 明らかな変状 (	も悪い。	悪い部でなっています。	統合しると機	金度に	基づいて決 記設全体 機能低下 下を招くな (機能低	を評価してい 恐れが 下して	ない状態 ある状態 いる状態
※ 3 ← m m w m w m w m w m w m w m w m w m w	レベル(a <sup>-</sup> ② ← 変状 \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	wd)、②部位の健全 ① a :項目に挙げた b :項目に挙げた c :項目に挙げた d :項目に挙げた □ 施設機能 □ 施設機能	全度(A~D)、③施設 現象・状況が見られな 現象・状況に対し軽微 現象・状況に対し関定 現象・状況に対し著し に影響する変状がな に影響する変状がな	の健全度(i ~ iv)の 評価 い、もしくは目視困難なな変状がある …(本) 的(局所的)ではあるが い変状がある ある	順に各々最  面指標 ほど軽微であ 質的に支障は 明らかな変状  ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	も悪い。 るないががある。 明らかに	を できます が 機能	統合しると機	・・・・・(横能低・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	基づいて決議を記録全体を設定しています。 できおくい (機能低下) (機能機能要は、機能要	を評価しているれが下して	ない状態ある状態いる状態
※①変状/ ③ ← が ・ ii iii iii ii ii ii ii ii ii ii ii ii	レベル(a <sup>-</sup> ② ← 変状 \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	wd)、②部位の健全 ① a :項目に挙げた b :項目に挙げた c :項目に挙げた d :項目に挙げた プ 施設機能 □ 施設機能 □ 施設機能	全度(A~D)、③施設 現象・状況が見られな 現象・状況に対し軽微 現象・状況に対し関定 現象・状況に対し著し に影響する変状がな に影響する変状がな	の健全度(i~iv)の 評価にい、もしくは目視困難なな変状がある …(本) いのではあるがいのではあるがい。変状がある あるない  変質を関連者への伝達事項ので選択する。原則とは基	順に各々最  面指標 ほど軽微であ 質的に支障は 明らかな変状  ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	も悪い。 るないががある。 明らかに	を できます が 機能	統合しると機	・・・・・(横能低・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	基づいて決議を記録全体を設定しています。 できおくい (機能低下) (機能機能要は、機能要	を評価しているれが下して	ない状態ある状態いる状態
※① 変状/ ③ ← max double を km 20	レベル(a <sup>-</sup> ② ← 変状 \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	wd)、②部位の健全 ① a :項目に挙げた b :項目に挙げた c :項目に挙げた d :項目に挙げた プ 血 施設機能 □ 施設機能 □ 施設機能 □ 施設機能 単断目安(原 施設の健全度が	全度(A~D)、③施設 現象・状況が見られな 現象・状況に対し軽微 現象・状況に対し関定 現象・状況に対し関定 に影響する変状がな に影響する変状がな 付ける。点検者から施 則、判断の目安に沿っ i である場合(師位の根	の健全度(i~iv)の 評価にい、もしくは目視困難なな変状がある …(本) いのではあるがいのではあるがい。変状がある あるない  変質を関連者への伝達事項ので選択する。原則とは基	順に各々最  面指標  ほど軽微であ  質的に支障は 明らかな変状  ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	も悪い。 るないががある。 明らかに	を できます が 機能	統合しると機	・・・・・(横能低・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	基づいて決議を記録全体を設定しています。 できおくい (機能低下) (機能機能要は、機能要	を評価しているれが下して	ない状態ある状態いる状態
※①変状/ ③ ← が 施設の健全度 施設 間 ・ iii iii iv を を合評・ 対応の問題	レベル(a <sup>-</sup> ② ← <u>****</u> *** *** *** *** *** *** *** ***	wd)、②部位の健全 ① a :項目に挙げた b :項目に挙げた c :項目に挙げた d :項目に挙げた プ	全度(A~D)、③施設 現象・状況が見られな 現象・状況に対し軽微 現象・状況に対し関定 現象・状況に対し関定 に影響する変状がな に影響する変状がな 付ける。点検者から施 則、判断の目安に沿っ i である場合(師位の個) ii である場合(師位の個)	の健全度(i~iv)の 評価に、もしくは目視困難なな変状がある …(本)的(局所的)ではあるがい変状がある ある なない 変数管理者への伝達事項ので選択する。原則とは3	順に各々最 面指標 ほど軽微であ 質的に支障は 明らかな変状(	も悪い。 るないががある。 明らかに	を できます が 機能	統合しると機	・・・・・(横能低・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	基づいて決議を記録全体を設定しています。 できおくい (機能低下) (機能機能要は、機能要	を評価しているれが下して	ない状態ある状態いる状態
※① 変状/ ③ ← 部位の個全度 施設の個全度 施設 周 ※ その f ・ 対応 の f	レベル(a <sup>-</sup> ② ← <u>****</u> *** *** *** *** *** *** *** ***	wd)、②部位の健全 ①	全度(A~D)、③施設現象・状況が見られな現象・状況に対し軽微現象・状況に対し限定現象・状況に対し関定に影響する変状がない影響する変状がなけた。点検者から施則、判断の目安に沿ってある場合(部位の傾)である場合(部位の傾)にある場合(部位の傾)にである場合(部位の傾)にである場合(部位の傾)にである場合(部位の傾)にである場合(部位の傾)にである場合(部位の傾)にである場合(部位の傾)にある場合(部位の傾)にある場合(部位の傾)にある場合(部位の傾)にある場合(部位の傾)にある場合(部位の傾)にある場合(部位の傾)にある場合(部位の傾)にある場合(部位の傾)にある場合(部位の傾)にある場合(部位の傾)にある場合(部位の傾)にある場合(部位の傾)にある場合(部位の傾)にある場合(部位の傾)にある場合(部位の根)にある場合(部位の根)にある場合(部位の根)にある場合(部位の根)にある場合(部位の根)になる場合(部位の根)になる場合(部位の根)になる場合(部位の根)になる場合(部位の根)になる場合(部位の根)になる。	の健全度(i~iv)の 評価に、もしくは目視困難なな変状がある …(本) 的(局所的)ではあるがい変状がある ある なななななななななななながなる  変質理者への伝達事項 のて選択する。原則とは3 2全度全てが4の場合) 2全度で8が一つでも含まれる場	順に各々最 面指標 ほど軽微であ 質的に支障は 明らかな変状	も悪い。 るないががある。 明らかい	平価をです。 ・ 機能・	位の健全を行った。	・・・・(根 ・・・・(根 ・・・・・ ・・・・ ・・・・ ・・・・ ・・・・	基づいて決 記設全体 機能低下を招く? (機能し要	型 してい ひひれが 下して てい 大して で 失して	ない状態 ある状態 いる状態
※① 変状/ ③ ↓ 前数の健全度 施設の健全度 施設の間全度 を かん 問題 異微 補修	レベル(a <sup>-</sup> ② A B B C D D 地盤状況 地の状況 を	wd)、②部位の健全 ① a :項目に挙げた b :項目に挙げた c :項目に挙げた d :項目に挙げた d :項目に挙げた 元 m 施設機能 □ 施設機能 □ 施設機能 世方の健全度が 施設の健全度が 施設の健全度が 施設の健全度が 施設の健全度が 施設の健全度が 施設の健全度が 施設の健全度が 施設の健全度が 施設の健全度が	全度(A~D)、③施設現象・状況が見られな現象・状況に対し軽微現象・状況に対し関定現象・状況に対し関定に影響する変状がない影響する変状がない。  「である場合(部位の個)である場合(部位の個)である場合(部位の個)と(部位の個全度でDが一つ)	の健全度(i~iv)の 評(い、もしくは目視困難なな変状がある …(本) い変状がある い変状がある ある ない ととは自覚困難ない変状がある のではあるがいながある ある ない ととなるでは、 の場合 企業をでが、の場合 企業をでが、このでも含まれる場合	順に各々最   面指標   ほど軽微であ   のに支障は   明らかな変状   ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	も悪い。 るないががある。 明らかい	では、 大田 は は は は は は は は は は は は は は は は あるむ	位の健康を持ち、これを表現しています。	・・・・(根 ・・・・(根 ・・・・・ ・・・・ ・・・・ ・・・・ ・・・・	基づいて決 記設全体 機能低下を招く? (機能し要	型 してい ひひれが 下して てい 大して で 失して	ない状態 ある状態 いる状態
※①変状/ ③ □ ii iii ii	レベル(a <sup>-</sup> ② A B B C D D 地盤状 辺地盤状 地の状況 横向 更調査 有 を表するない。 の の の の の の の の の の の の の	wd)、②部位の健全 ① コーロー マーロー マーロー マーロー マーロー マーロー マーロー マーロー	主度(A~D)、③施設現象・状況が見られな現象・状況に対し軽微現象・状況に対し限定現象・状況に対し限定理象・状況に対し著しに影響する変状がない影響する変状がない。 対している場合(節位の指している場合(節位の相会でである場合(節位の相会でであり、かつ要因が高額という。	の健全度(i~iv)の 評価に、もしくは目視困難なな変状がある …(本) 的(局所的)ではあるがい変状がある ある ない と変状がある をはい と変状がある。原則とは 変と度全でがの場合 企会度でのが一つでも含まれる場合 でも含まれる場合)であり、対	順に各々最   面指標   ほど軽微であ   のに支障は   明らかな変状   ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	も悪い。 るないががある。 明らかい	では、 大田 は は は は は は は は は は は は は は は は あるむ	位の健康を持ち、これを表現しています。	・・・・(根 ・・・・(根 ・・・・・ ・・・・ ・・・・ ・・・・ ・・・・	基づいて決 記設全体 機能低下を招く? (機能し要	型 してい ひひれが 下して C C C C C C C C C C C C C C C C C C C	ない状態ある状態いる状態
※① w m m m m m m m m m m m m m m m m m m	レベル(a <sup>-</sup> ② A B B C D D 地盤状 カリカル は D D D D D D D D D D D D D D D D D D	wd)、②部位の健全 ①	主度(A~D)、③施設現象・状況が見られな現象・状況に対し軽微現象・状況に対し限定現象・状況に対し関定は影響する変状がない影響する変状がない。 一般である場合(節位の間である場合(節位の間である場合(節位の間である場合(節位の間である場合(節位の間である場合(節位の間である場合(節位の間である場合)がであり、かつ要因が一つ。  「活版となった。」  「である場合(節位の間である場合(節位の間である場合(節位の間である場合)がつ要因が一つ要因が一つ。	の健全度(i~iv)の 評価に、もしくは目視困難なな変状がある …(本) 的(局所的)ではあるがい変状がある ある ない と変状がある をはい と変状がある。原則とは 変と度全でがの場合 企会度でのが一つでも含まれる場合 でも含まれる場合)であり、対	順に各々最 面指標 ほど軽微であ で で で で で で で で で で で で で で で で で で	も悪い。 るないががある。 明らかい	では、 大田 は は は は は は は は は は は は は は は は あるむ	位の健康を持ち、これを表現しています。	・・・・(根 ・・・・(根 ・・・・・ ・・・・ ・・・・ ・・・・ ・・・・	基づいて決 記設全体 機能低下を招く? (機能し要	型 してい ひひれが 下して C C C C C C C C C C C C C C C C C C C	ない状態 ある状態 いる状態

### 表 I -2.5.3 様式-3(1):型 O2-1 概査調査票: 水抜きボーリングエ(1)

	t-3(1) : k抜きボ-			)>*	個々の!	集水ボ	<b>概査</b> ーリングに	調査票		207			)		地	すべ	-	<b>方止施</b>	設機	能診斷	折調査
	検年月日		1		/		天候		10 24 10	Toronto.	検者		-				W.A.				
2	域名					地す	ベリブロック名	3			施言	0名						施工	年度		年
構造	告/材質					幅		高さ			延長		-	(調	查票	番	号:				)
■ Į	見地確認	事項															Ξ				
集刀	k状況	流量等	<b>手</b> □	」乾炒	異 口	濡れ	口滴水	口流	水あり	0.3	充量(	最大)			1/分	1				問題あり	
流河	卡状況	流末位	置				×		流	水あり	:	流	量(最大	()			/分	= 1		問題あり	
real real	A. (8) (5) (5) (6)	計測値	-																	問題あり	
1000	別施設		_						ALCOHOLD TO	- Marin							-	W 5 & 22		問題あり	
一	『位の変	状レベノ	レ台	子項目	で当ては	まる状況	兄の番号を記	<b>2入し、最も</b>	悪い状	態につ	LITL	バル	判定す	る。ま		-	-	-	写真猫		です。
	工種・	部位			項目		-	で合的な状況	兄その作	也の場合	きは9	とする	)	а	b	C C	-	ベル 該当	写真	健:	全度 (~D)
	水抜	きボー	)	皮損・ク	て損		2275344	ひび割れ	・3.抜け	+・4.折	れ曲7	がり									
本		※別紙	-	食			1.発錆			A Livery Street											
体	C.1	固々の孔 に評価	19		L口状況		100000000000000000000000000000000000000	付着・2.4	C-345		-	- Carrier	-							4	
		- pri ilea	-		り(孔内)	部)	200000000000000000000000000000000000000	付着・2.4		1114 5 155 5 1	-	CONTRACT.	他								
11	□ 導水	パイプ		関サイス		1)		ひび割れ					/sh			-					
			-	月基(チャリング)	し口状況	(1)		付着・2.村 ひび割れ				20.00	-								
	口孔口	伊维士	-	100000	2.00.00	-	200 300			י אונה ה	4.摩	kt ' 0."	ての旭			-			-		
	II TLI	休暖上	-	を位・3 な食	2.112	-	1.9 和 2	.傾倒·3.沈	e P							-					
付帯			-	皮損・ク	7指	-	2.000000	ひび割れ	.3 摩莉	Ē				+		$\vdash$				-	
市施	3		-	を位・多		-	3.7 3.00	地切れ等)・2	0.000					+							
設	□ 集水	] 集水升		食	CIE		1.発錆	(29)10-4) E	12(12)	9,770 1											
٦			27.5	寒・坦	担没			積·2.落葉	等堆積	· 3植物	勿侵刀	( . 4. 7	の他								
H			- 1	皮損・ク			2000 2000 2000	ひび割れ			7.74(31)										
ш	□ 流末	施設		变位·多	1100301		1.屈曲・2	ずれ(目地は	りれ等)・3	逆勾面	5										
			閉	月塞・坦	12		1.土砂堆	積·2.落葉	等堆積	€·3.植华	勿侵之	ኢ∙4.₹	その他								
	)変状レ	ベル(a~	-d), (a	2, 12, 14			D調査を行 D)、③施設			iv )のI				最も悪い	い部位	の健全	度に	(i~ 基づいて 記設全	決定〕	平価す	-る。
	3 ← (		-	百日に	<b>券</b> (ギた耳	9. 什	況が見られた	71 x ±1 /1	十日 妇	1001000		-71-75	# Z				(#	<b>維鉛杆</b>	TI 7	Liter	\状態)
施設の	:: 位,	- R		77.7			況に対し軽制	A 1 A 1 A 1 A 1	331542		10 /00 100		100 TO 1	《放置	-	512.75.7	-	-			2 100 11 11
健	(ii (the /	- 0		71 372	100000000000000000000000000000000000000	0.00	況に対し限別	2 2 2 2 2 2 2 2	3310	100000	-	-0.0	100000				-	(機能	330.00		Total Control
全度		11	-			4 10 10 100	況に対し著し	CATACON MAN	120		777000		(明らか				-				
			I	T t在言	九 北	- 里/ 細5 -	ナる変状が	t. Z. [	2.5				227.20								380000
施	設周辺均	也盤状況	兄				る変状が														
	その他の	の状況																			
<b>*</b>	総合評価	該当	するは	選択肢	にのを付	111る。 F	点検者から施	b設管理者·	への伝	達事項。	LLT	「対応	の目安	」を示	す。						
	対応の目	安	#	判断目	安(原則	川、判断	の目安に沿	って選択す	る。原具	川とは異	なる	選択を	する場	合は現	里由を	シュメ	ントす	關に必	ず記ノ	する。	)
	問題					13774374	場合(部位の		Difference												
	監社	-				14.444.8	場合(部位の	1		era with law.											
	軽微な					10.74.74	場合(部位の				_		um v /	and the s							
	補修・						建全度でDが一つ				_		_			_	对原	方法	が明	確な場	計合
100,000	要詳細急対応	有	【判断目や新たな	安]①地	すべりの再 災害等で放	活動	状況と	か明らか	でない	場合や	对心	万法	か明確	でない	八場	台					
	必要性	7.07			皮害発生の		対応策	En#+	401.A =	T/II O III	I NAC TO	ch to									
= 5	1.快桁果	C 对心(	リ日女	ズル対	9 るコメ	ノト変	状の発生要	凶の推定、	総合計	一曲の判	断埋	出等									

注意: 概査では、各ポーリング 1 本 1 本の流量計測や検尺棒挿入を必ずしも実施しなくともよい。検尺棒挿入を実施しない場合には、「目詰まり(孔内部)」の項目に関する欄は記入しなくてよい。

### 表 I -2.5.4 様式-3(1):型 O2-2 概査調査票: 水抜きボーリングエ(2)

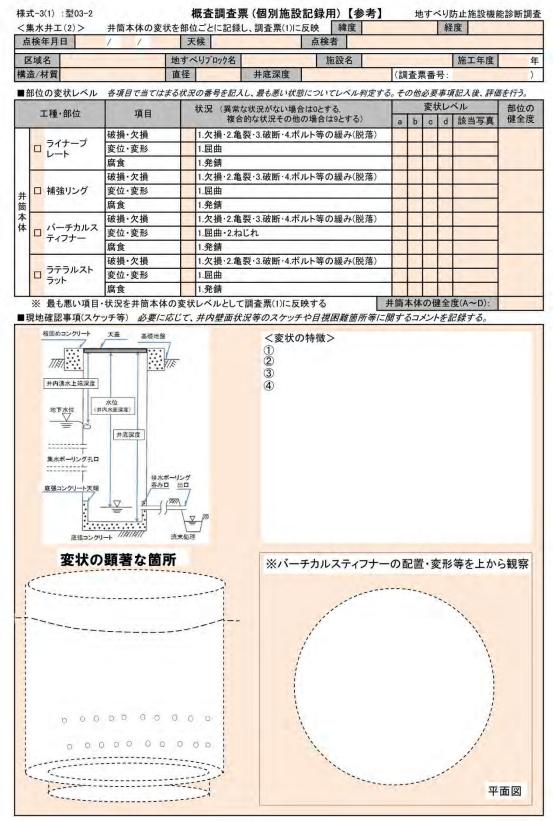
	_	リングエ(2)>※	各	<b>東水</b>	ボー	_		状況	記録	用	周查	票		- 10	-	度			経	度		
点検年	月日	/	/			天	候						点	検	<b>者</b>					_		
区域名							ミリブロック	THE VI						放	設	名		工年				
造/材	1000000						彡状·段数											(調査票番	-			
個々の	のボー	リング孔の点検	結果		4 T 1	はま	る状況に	=/C	اع ا						項	を記	録す				棒を実施	<b>密した場合のみ評価</b>
	訓、左	番号 から順番に、 と付ける	(目で	集水ははに	こてるり	、当	流量 (1/分)		-		度※		<b>状</b> 为		<b>才着</b> :	物	検尺棒	孔内部目詰ま 検尺棒 挿入長さ	詰まっ	やや詰	健全	コメント
		水ボーリングの施工延長				流	※計測 可能な 状況で あれば							細	植物	7	(実施なら	25萬性)	ている			(破損状況・ 質・その他* 況)
番号	(m)			乾濡燥れ			測る	A	В	С	D	E	F	菌類	藻類	の他	ば〇)	(m)		8		
1																						
2																						
3																						
4																						
5																						
6																						
7																						
8																						
9																						
10																						
11													-									
12					-																	
14																					H	
15						Н							-									
16								-					-	-	-				-			
17					-																Н	
18						H																
	í	計		-	-			0	0	0	0	0	0				0		0	0	0	
部位の	の変り	レベル評価 個	70	ボー	-1/2	ノグ:	孔の点核	食結:	果を	集計	L. :	全体	LL.	ての	閉差	₹ŁE	]詰	まりについての。	変状	レベ	ルを	評価する
惠		付着度A								本				本				%		判	-	
下記( <i>孔口</i> <b>変状し</b> b = c =	の考えの別付付付付付付付付付付付付付付付付付付付付付付付付付付付付付付付付付付付	情度の決定方法 近方に沿って目 (塞割合 =孔 要A: 孔口の閉 要E: 孔口の閉 で、孔口閉塞の 要A・B・Cの孔 要A・B・Cの孔 変表・B・Cの孔 変表・B・Cの孔	分口塞塞塞半数数数	面合合合基合合合	ころ 70 30 10 準 十か 十か 十か	が 25 25 25 25 25 25 25 25 25 25 25 25 25	る閉塞物 以上 0% ミ満 乳数の2 乳数の2	物の 付付 付 25% 25%	断盾唐着 D,E,深以	看 EB: ED: EF: Fの = 50	÷ A 孔口 孔口 孔口 み)	1の 1の 1の 1の 二の	閉塞 閉塞 閉塞	割割	合 合 なし	50~ 10~	~70 ~30	%		ア	孔口 / / 塞物	断面
目詰ま	67700	Γ≣±±α7	いる	315	やす	き詰	1.0020	0 70	- W	-	/	10.	нн Ц	本		1/41		%	0.0	判》	定	
(検尺	棒を手	詰まり状況の   施した場合の  でる」・・・検尺棒	み言	平価	)	2	なくなる	場で	슼		+	۱				200		D長さ(施工延長)				
るもの	の抵	きっている」…枝 抗が大きい場	合					入で	き検尿	棒	4			事挿)を				所の孔口からの距	離)		>	4
a = b = c =	「詰ま 「詰ま 「詰ま	・: 孔内部目詰 っている」「や・ っている」「や・ っている」「や・ っている」「や・	や詰 け詰 き	ままま	ってい	いるいる	」の孔数 」の孔数 」の孔数	数の数の	合言	†が †が	全子	L数(	<b>D25</b>	%: %!	未沛 以上	5 509						m.

注意: 概査では、各ボーリング 1 本 1 本の流量計測や検尺棒挿入を必ずしも実施しなくともよい。必要に応じて本調査票の欄を活用すること。また、概査だけでなく詳細調査時などにも本調査票を利用できる。

### 表 I -2.5.5 様式-3(1):型 O3-1 概查調查票:集水井工(1)

接換	東式-3(1) <集水井		1111地表から内部を	<b>造切日相</b>		周査票(個  窓時は別紙(2			_		地	すべ	りり経	方止施設機 度	能診断調
選択			(別述教がら内部を)	Toronto.	and the same	COTCHOLOGIAN (2		-				_	小工	汉	
選出機関   直径   非底震度   「調査業番号:	20092020			The state of the s			-		-				_		r
現地徳認事項  素木状質 集木ボーリング配置確認 段 × 孔 段 × 孔 段 × 孔 日根可否   1883/1883/ 188				1	りブロック名		_	施設名		ī				施工年度	3
集水状況 集水ボーリング配置確認 段 × 孔 段 × 孔 段 × 孔 日担可否				直径		井底深度				(訓	查票	番号	<del>]</del> :		)
議議院題							-					T and			
京瀬   京瀬   京瀬   京瀬   京本   京本   京本   京本		2007 071 201		7,577	an time		孔		1	-	-	否			
京会   京会   京会   京会   京会   京会   京会   京会	CARL CALCULATION	100000000000000000000000000000000000000		流水	あり:	流量(最大)		1/分	水質·言	十測值	直等			- 1	問題あり
おいて	観測施設	計測器名	3												問題あり
工種・部位 項目 状況 (実際な状況がない場合は30上する) a b c d 該当写真 (A-D) (表現の状況をつ他の場合は30上する) a b c d 該当写真 (A-D) (表現の状況をつ他の場合は30上でも) (表現の状況と20 (本理の状況と20 (本理の状況を20 (本理の状況と20 (本理の状況と20 (本理の状況と20 (本理の状況と20 (本理の状況と20 (本理の状況を20 (本理の状況と20 (本理の表別に20 (本理の状況と20 (本理のが状況と20 (本理の状況と20 (本理のが状況と20 (本理のが状況と20 (本理のがなどを検定の (本理のよどが成別するを検定を表) (本理のよどが成別するを表) (本理のよどが成の目を定する場) (本理のは、本理の表) (本理の表) (本理の表) (本理の、生) (本理の	安全施設	天蓋	あり	なし	点検梯子	あり	なし	安全	≧柵	あり	)	7	なし		問題あり
### (	■部位の変	を状レベル	各項目で当ては	まる状況の	の番号を記入	てし、最も悪い。	状態につい	ハてレベル	判定する	3. <i>₹</i> .		500000	_		1 0 0 0 0 1 C
無食 1.発館 門筋(孔口状況)。 1.発館 門筋(孔口状況)。 1.規劃類付着・2.植物・藻類侵入・3.その他 開放(孔口状況)。 1.規劃類付着・2.植物・藻類侵入・3.その他 開放(孔口状況)。 1.発酵	工種	·部位	項目	t t		The state of the s			5)	a			-		健全度
接球ボーリン 磁指・交換   1.交換 2.0 近割れ・3.接け・4.折れ曲がり	100	3.44. 100	破損·欠損		1.欠損・2.ひ	び割れ・3.抜	け・4.折れ	曲がり							
接球ボーリン 磁指・交換   1.交換 2.0 近割れ・3.接け・4.折れ曲がり	集口集	水ボーリン	腐食		1.発錆		2.15				H				
# (			閉塞(孔口状況	!)*	1.細菌類付	着·2.植物·	藻類侵入	. 3.70	D他						
腐食 1.発酵 1.発酵 1. (東外の口にで目		水ボーリン	破損·欠損		1.欠損・2.ひ	び割れ・3.抜	け・4.折れ	曲がり							
語し (	盤 グ		腐食		20.00										
現業より水面を高速   異常湛水   1.異常湛水(井内水面高) を巻コンクリート天端高   7 カイ・フレート   神強リング・ザ   7 カイ・フレート   神強リング・ザ   7 カイ・フレート   神強リング・ザ   7 カルスティブナー   7 カアカルスティブナー   7 カアカルスティブナー   7 カルスティブナー   7 カルスティブナー   7 カアカルス   7 カルスティブナー   7 カルスティブナー   7 東値   7 東極	花 視確	認、異常湛水	財塞(孔口状況			着·2.植物·	藻類侵入	. 3.70	D他						
### 1. 欠損・2. 電製・3. 強勝・4.ポルト等の緩み(脱落)	地表	より水面を遠言		_	C DE LE ZO-LONGO DE		0017457 5150 1	200		1					
振展   1 条件   1 原産   1 の				_	MESON CHEST	1454 305 14 25 24 4 4 41	ALTONOO NO.	N. P	P. 100 10 10 1	1		1	1		
議会 1.発銷 1.欠損・2.ひび割れ・3.摩耗 変位・変形 1.ずれ・2.傾動・3.沈下 破損・欠損 1.欠損・2.ひび割れ・3.摩耗 変位・変形 1.ずれ・2.傾動・3.沈下 破損・欠損 1.欠損・2.ひび割れ・3.摩耗 変位・変形 1.ずれ・2.傾動・3.沈下 破損・欠損 1.欠損・2.ひび割れ・3.摩耗 原食 1.発銷 2.ひび割れ・3.摩耗 原食 1.発銷 2.0 の服み・(脱落) 原食 1.免債・2.0 の服務・4.ボルト等の緩み(脱落) 原食 1.免債・2.4 製・3.破断・4.ボルト等の緩み(脱落) 原食 1.免債・2.4 製・3.破所・4.ボルト等の緩み(脱落) 原食 1.免債・2.4 製・3.破断・4.ボルト等の緩み(脱落) 原食 1.免債・2.4 製・3.破債・2.4 ボルト等の緩み(脱落) 原食 1.免債・2.4 製・3.破債・4.ボルト等の緩み(脱落) 原金 1.免債・2.4 製・3.破債・4.ボルト等の緩み(脱落) 原金 1.免債・2.0 は、2.2 は、3.4 は、4.2 は、4.2 は、4.2 は、4.3	前 一補強	針リング、バー	亦位,亦取			40.5		104	e vr H r				-		1
応張コンクリー   ・											H				
底張コンクリー   変位・変形   1.ずれ・2.傾倒   開塞・埋没   1.土砂堆積・2落葉等堆積・3.植物侵入・4.その他   世表コンクリー   変位・変形   1.大損・2.以動・3.沈下   変位・変形   1.大損・2.以動・3.沈下   変位・変形   1.大損・2.以動・3.沈下	10	1015 - 100	TA 10 6 10	_		7 (割れ・3 彦	‡£			+	H	-	-		
開塞・埋没	底 一底	張コンクリ	亦位,亦形			7.00	<b>ተ</b> ፔ			+	$\vdash$		$\dashv$		
世 世 世 世 世 世 世 世 世 世 世 世 世 世 世 世 世 世 世	18 - F						1書. 2 枯粉	但 1 . 4	<b>エの</b> 掛	+		-	-		
□ 天蓋	d. 10k.	+	内基 生/X					区八 4.	C 07 1E	+		-	-		
□ 天蓋	也一地	表コンクリー	本位 亦形		11101		木七			+	-	$\vdash$	-		
広報・大震	X		友世 支形		2 (1.4)		±r.			+	-	-	-		
は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	口天	蓋			ALCOHOL: NO.	ひ割れ・3.摩	粍						-		
点検梯子   病食   1.発銷   1.発銷   1.発銷   1.発銷   1.配曲・2.傾倒   1.配曲・2.傾倒   1.配曲・2.傾倒   1.配曲・2.傾倒   1.配曲・2.傾倒   1.配曲・2.傾倒   1.配曲・2.倾倒   1.见声域・2.以下(井内での観察時は別紙(3)参照)   1.配曲・2.倾见   1.见声域・2.以下(共力での観察時は別紙(3)参照)   1.见声域・2.以下(共力での観察時は別紙(3)参照)   1.见声域・2.以下(共力で高速を)   1.见声域・2.以下(共力で高速を)   1.见声域・2.以下(共力で高速を)   1.见声をを存在記述をを評価する。			- C.			TELL a male bloom a	18 1 44	- 455 - 1	ny <del>de</del> s	-	-		_		
順良		<b>検梯子</b>	337 44 65 37 43 412		7.7	裂·3.破断·4	ホルト等	の緩み(	脫洛)	-	-	_	_		
□ 安全柵 変位・変形 1.屈曲・2.傾倒 腐食 1.発錆  (集水ボーリングの「閉塞」の変状レベル判定基準は以下(井内での観察時は別紙(3)参照) 地表から遠望目視にて孔口確認: 閉塞なし=a、閉塞あり=c、不明・目視不可=b(コメント残す) (現も悪い評価を統合し、施設全体を評価する。			12222	_	2000000		10			+		_			
腐食 1.発酵  (条水ボーリングの「閉塞」の変状レベル判定基準は以下(井内での観察時は別紙(3)参照)	殳				711000	200	ボルト等	の緩み(	脱落)						
(条集水ボーリングの「閉塞」の変状レヘル判定基準は以下(井内での観察時は別紙(3)参照) 地表から遠望目視にて孔口確認: 閉塞なし=a、閉塞あり=c、不明・目視不可=b(コメント残す) (第も悪い部位の健全度(i ~ iv)) 地表から遠望目視にて孔口確認: 閉塞なし=a、閉塞あり=c、不明・目視不可=b(コメント残す) (第も悪い部位の健全度(i ~ iv)) (第も悪い部位の健全度(i ~ iv)) の順に各々最も悪い評価を統合し、施設全体を評価する。	口 安全	全柵				倒					200				
地表から遠望目視にて孔口確認: 閉塞なし=a、閉塞あり=c、不明・目視不可=b(コメント残す)  ②			1 25-55-55		100,000,00					L					
《①変状レベル(a~d)、②部位の健全度(A~D)、③施設の健全度(i~iv)の順に各々最も悪い評価を統合し、施設全体を評価する。 ③ ← ② ← ①									. 2						
③ ← ② ← ① 評価指標  ti ii i	地表から	ら遠望目視	にて孔口確認:閉	塞なし=a	、閉塞あり=	c、不明·目視	不可=b(=	メント残	す) [	最も悪	い部位	の健全	度に	基づいて決定	
は i i ii i	《①変状レ	バル(a~	d)、②部位の健全	度(A~D	$3$ 施設 $\sigma$	)健全度(i~	~iv)の順	に各々	最も悪い	評価	5を紛	i合し	、施	設全体を記	评価する。
は	7 7	1 1	D				評価	指標							
##	海 i 部											_			
「現自に挙げた現象・状況に対し限定的(局所的)ではあるが明らかな変状がある		B 状 b	:項目に挙げた現	象・状況	こ対し軽微な	な変状がある	…(本質	的に支障	はないが	放置	する。	と機能	€低"	下を招く恐れ	がある状態
施設周辺地盤状況  一 施設機能に影響する変状がある  一 施設機能に影響する変状がない  その他の状況  「一 施設機能に影響する変状がない  「一 施設がはい  「一 一 施設がはいのを付ける。点検者から施設管理者への伝達事項として「対応の目安」を示す。  「一 判断目安(原則、判断の目安に沿って選択する。原則とは異なる選択をする場合は理由をコメント欄に必ず記入する。)  「問題なし  「施設の健全度が i である場合 (部位の健全度でが4の場合)  「施設の健全度が ii である場合 (部位の健全度でが一つでも含まれる場合)  「本にない (部位の健全度が ii または iv であり、かつ要因が明らかである場合や対応方法が明確でない場合 (共内観察が必要な場合を表生)  「本になませ、記念書書生の思念」  「本になませ、記念書書生の思念書」  「本になませ、記念書書生の思念書」  「本になませ、こといる書きまし、または、になるまたませ、こといるまたまし、または、になるまたまし、またまし、またまたまし、またまたまし、またまたまたまたまたまたまたまた	수 111 소	C × c	:項目に挙げた現	象・状況	こ対し限定的	内(局所的)でに	はあるが明	らかな変	状がある		2171	******		(機能低下し	ている状態
その他の状況   総合評価 該当する選択肢に〇を付ける。点検者から施設管理者への伝達事項として「対応の目安」を示す。 対応の目安 判断目安(原則、判断の目安に沿って選択する。原則とは異なる選択をする場合は理由をコメント欄に必ず記入する。)  問題なし 施設の健全度が i である場合(部位の健全度でが、つでも含まれる場合)  整視 施設の健全度が ii である場合(部位の健全度でが、つでも含まれる場合)  軽微な補修 施設の健全度が ii である場合(部位の健全度でが、つでも含まれる場合)  補修・更新 施設の健全度が ii である場合(部位の健全度でが、つでも含まれる場合)  本様を・更新 施設の健全度が ii である場合(部位の健全度でが、つても含まれる場合)  本様を・更新 施設の健全度が ii または iv であり、かつ要因が明らかでない場合や対応方法が明確でない場合(共内観察が必要な場合な  ないます。  本様を・更新 施設の健全度が ii であり、かつ要因が明らかでない場合や対応方法が明確でない場合(共内観察が必要な場合な  ないます。 な	iv 度	D d	:項目に挙げた現	象・状況	こ対し著しい	変状がある		ummi	・・(明らか	に機	能低	下、ま	たに	は機能喪失し	ている状態
総合評価 該当する選択肢にOを付ける。点検者から施設管理者への伝達事項として「対応の目安」を示す。     対応の目安 判断目安(原則、判断の目安に沿って選択する。原則とは異なる選択をする場合は理由をコメント欄に必ず記入する。)     問題なし 施設の健全度が i である場合(部位の健全度全がAの場合)     監視 施設の健全度が ii である場合(部位の健全度でが一つでも含まれる場合)     軽微な補修 施設の健全度が iii である場合(部位の健全度でのが一つでも含まれる場合)     補修・更新 施設の健全度が ii である場合(部位の健全度でのが一つでも含まれる場合)     被診の健全度が iv (部位の健全度でのが一つでも含まれる場合)     被設の健全度が iv (部位の健全度でのが一つでも含まれる場合)     被診の健全度が iv (部位の健全度でのが一つでも含まれる場合)     被診の健全度が iv (部位の健全度でのが一つでも含まれる場合)     被診の健全度が iv (部位の健全度でのが一つでも含まれる場合)     被診しの健全度が iv (部位の健全度でのが一つでも含まれる場合)     を対応の健全度が iv (部位の健全度でのが一つでも含まれる場合)     を対応の健全度が iv (部位の健全度でのが一つでも含まれる場合)     を対応の健全度が iv (部位の健全度でが一つでも含まれる場合)     を対応の健全度が iv (部位の健全度でが一つでも含まれる場合)     を対応の健全度が iv (部位の健全度でが一つでも含まれる場合)     を対応をは、定式の健康を表生の思念が iv (対応を定せ、定式の関係を表生の思念)     が破損 ③人的被害発生の思念     が成損 ③人的被害発生の思念	施設周辺	2地盤状況	□施設機能に	影響する変	を状がある	□ 施設機能	に影響す	る変状が	ない						
対応の目安 判断目安(原則、判断の目安に沿って選択する。原則とは異なる選択をする場合は理由をコメント欄に必ず記入する。) 問題なし 施設の健全度が i である場合(部位の健全度全でがAの場合) 監視 施設の健全度が ii である場合(部位の健全度がかつでも含まれる場合) 軽微な補修 施設の健全度が ii である場合(部位の健全度でがつても含まれる場合) 補修・更新 施設の健全度が iv (部位の健全度でがつても含まれる場合)であり、かつ要因が明らかである場合や対応方法が明確な場合 要詳細調査 施設の健全度が ii または iv であり、かつ要因が明らかでない場合や対応方法が明確でない場合(共内観察が必要な場合を 緊急対応 有 物形とな要状 (記)書書で施設 が破損 ③人的被害免生の思念 対応策	その他	の状況					2.31.53.8	-							
対応の目安 判断目安(原則、判断の目安に沿って選択する。原則とは異なる選択をする場合は理由をコメント欄に必ず記入する。) 問題なし 施設の健全度が i である場合(部位の健全度をびんの場合) 整視 施設の健全度が ii である場合(部位の健全度でが一つでも含まれる場合) 軽微な補修 施設の健全度が iii である場合(部位の健全度でが一つでも含まれる場合) 補修・更新 施設の健全度が iv (部位の健全度でが一つでも含まれる場合)であり、かつ要因が明らかである場合や対応方法が明確な場合 要詳細調査 施設の健全度が iii または iv であり、かつ要因が明らかでない場合や対応方法が明確でない場合(共内観察が必要な場合を 緊急対応 有 物形な変状 (②災害等で施設 対応策 対応策	総合評価	15 該当	する選択肢に〇を付	ける。点核	食者から施設	<b>発管理者への</b> を	達事項と	して「対応	の目安	を示	す。		_		
問題なし 施設の健全度がiである場合(部位の健全度全てがAの場合) 監視 施設の健全度がiiである場合(部位の健全度でBが一つでも含まれる場合) 軽微な補修 施設の健全度がiiである場合(部位の健全度でBが一つでも含まれる場合) 補修・更新 施設の健全度がiv(部位の健全度でDが一つでも含まれる場合) 施設の健全度がiv(部位の健全度でDが一つでも含まれる場合) 施設の健全度がiv(部位の健全度でDが一つでも含まれる場合)であり、かつ要因が明らかである場合や対応方法が明確な場合 要詳細調査 施設の健全度がiiiまたはivであり、かつ要因が明らかでない場合や対応方法が明確でない場合(共内観察が必要な場合を 緊急対応 有 物形と変状 ②災害等で施設	対応の		fants - 1		Street Street Street Street	THE RESERVE THE PARTY OF THE PA					10000	コメン	ノト村	欄に必ず記2	(する。)
監視 施設の健全度が ii である場合 (邮位の健全度でBが一つでも含まれる場合) 軽微な補修 施設の健全度が ii である場合 (邮位の健全度でCが一つでも含まれる場合) 補修・更新 施設の健全度が iv (邮位の健全度でDが一つでも含まれる場合)であり、かつ要因が明らかである場合や対応方法が明確な場合 要詳細調査 施設の健全度が iii または iv であり、かつ要因が明らかでない場合や対応方法が明確でない場合(共内観察が必要な場合)  「料断目を到了地大りの再活版 が成長 ③入的被害免生の思念 対応策 対応策					THE RESERVE AND ADDRESS.	a de-sancia de la constitución	A STATE OF THE STA			-			10000		12 901
軽微な補修 施設の健全度がiiiである場合(部位の健全度でが一つでも含まれる場合) 補修・更新 施設の健全度がiv(部位の健全度でか一つでも含まれる場合)であり、かつ要因が明らかである場合や対応方法が明確な場合 要詳細調査 施設の健全度がiiiまたはivであり、かつ要因が明らかでない場合や対応方法が明確でない場合(非内観察が必要な場合を	A				The State St			)					_		
補修・更新 施設の健全度がiv (#位の健全度でDが一つでも含まれる場合)であり、かつ要因が明らかである場合や対応方法が明確な場合 要詳細調査 施設の健全度がiii またはiv であり、かつ要因が明らかでない場合や対応方法が明確でない場合(#内観察が必要な場合を					20, 70, 70, 70, 70, 70, 70, 70, 70, 70, 7	The second	M-02 - 12 - 1-1								
要詳細調査 施設の健全度がiiiまたはivであり、かつ要因が明らかでない場合や対応方法が明確でない場合(共内観察が必要な場合な 緊急対応 有 (判断目安]「地すべりの再活動 状況と かが表えな要状 (②災害等で施設 が破損 ③人的被害発生の懸念 対応策		TORY STATE OF	ACCOUNT OF THE PARTY OF THE PAR		D-19-00-9-10-10-2	. 18:00	arrest and section		が明らか	であ	る場合	合わ	対位	方法が明	確な場合
経急対応 有 [判断目安]①地すべりの再活動				THE RESERVE			100 000000	2 7 29 4 7 20 20		-				S. 1125-156-358 - 5-6	3.23.20 CA 3.40
WE A STATE OF STATE O	緊急対応	有《	判断目安】①地すべりの再 新たな変状 ②災害等で放	活動状態	況と	- > = 0.71	2,0 0.00	-M = (	A LV VIII C.A.	-410°	ン14世		-9.	थ <b>ा</b> जाराकाकर	から まらか 日 点
■点検結果と対応の目安に対するコメント変状の発生要因の推定、総合評価の判断理由等	1. 25-24-1		Property of the Control of the Contr												
	■点検結界	長と対応の	目安に対するコメ	ント 変状	の発生要因	の推定、総合	評価の判	听理由等					_		

#### 表 I -2.5.6 様式-3(1):型 03-2 概查調查票:集水井工(2)



注意: 概査では、必ずしも本調査票を利用する必要はない。詳細調査時など井内観察が可能な場合に本票を利用できる。

### 表 I -2.5.7 様式-3(1):型 03-3 概查調查票:集水井工(3)

mar er	井工(3)>	各集水	ボー	ーリン	グラ		概查訓 状況記録							200	-	度			稻	度		
点検年	月日	1	1			天	候						点	<b>液</b>	者							
区域名	3				地	すへ	こりブロック	名						放	施設:	名				施	工年	度
造/材					Percent	-	ジャック ジャック ジャック ジャック ジャック ジャック ジャック ジャック	MARGINE.										(調査票番				
個々(	のボーリン	グ孔の点検	結果	1	4T1	はま	る状況バ	-10	175	-			-		項	を記	録す	る。(孔内部目詰まり			棒を実	施した場合のみ評価
	孔番号	1		集水	2000					f	101	<b>羽基</b>	状为	t I		-	te	孔内部目詰ま		F1000 A	120	
	割、左から 番号を付	順番に、	T	はまに「	るサ	光況	流量 (1/分) ※計測		3	付着	度※	•		1	<b>才着</b> :	物	検尺棒(実	検尺棒 挿入長さ (=目詰まりを	詰まってい	やや詰まっ	健全	コメント(破損状況・
番号 孔の施 (r	ドーリング 「工延長 m)	乾燥	濡れ	流水あり	可能な 状況で あれば 測る	A	В	С	D	E	F	細菌類	植物,藻類	その他	施ならばっ	起こした箇所 の孔口からの 距離) (m)	いる	っている		質・その他*		
1																						
2																						
3																						
4				1																		
5																3						
6																						
7																						
8																						
9																						
10																						
11																						
12																						
13																						
14																						
15							2	-								-						-
16 17																				H		
18			-			H		-				-										
10	合計			-				0	0	0	0	0	0			-	0		0	0	0	-
部位の		小評価 個	70	ボー	-1/	ノガー	引の占ね	_	_				_		<b>脚</b> 第	₹ J E	-	まりについての	- 0.5			評価する
塞北	1.00	付着度A						11111	× 6 2	本		L PT		本	10-00	- L	1 011	%	20	判		טי ק געון ומ
下記0 孔C 秋L a = b = c =	D考え方l の別を の別を の の が が が が が が が が が が が が が	の決定方法 に沿って目: 引合 = 孔に 孔口の閉: 孔口の閉: 上口閉塞の B·B·C の孔! B·C の孔!	分の塞塞塞半枚数数	面合合合基合合合	- 占 70 30 10 準 十 か 十 か 十 か	から ~5 ~5 ~ 全子	3 <i>閉塞物</i> 以上 0% 高 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	かの 付け 付付 (19%() (19%(	断着着着 D,E,i	積 B: D: EF: Fの ESO	÷ 孔 孔口 孔口 孔口 み)	の   の   の	閉塞 閉塞	割物	合かなし	50~ 10~	~70 ~30			閉	孔口/	断面
N 2-14 13	り状況	「詰まっている」の子	いる	315	やす	き詰		70	-	14	/	101		本		14		%	0	判	定	
検尺: 「詰! 「や! ものの	棒を実施 まっている や詰まっ )抵抗がプ	<b>まり状況の</b> した場合の ろj…検尺棒 でいるj…検 てきい場合	等で	平価を挿	) 入 を を	でき	まで挿				*			棒挿ノ	入長	± (m	)	)長さ(施工延長) 行の孔口からの距	離)			<b>1</b>
a = b = c =	「詰まって 「詰まって 「詰まって	.内部目詰 いる」「や- いる」「や- いる」「や- いる」「や-	た 結 は 結 も 結	ままま	ってい	いるいる	」の孔数 」の孔数 」の孔数	数の数の	合言	†が †が:	全子	数位数	<b>D25</b>	5%: 5%!	未沛	责 :50℃						W.

注意: 概査では、必ずしも本調査票を利用する必要はない。詳細調査時など井内観察が可能な場合に本票を利用できる。

### 表 I -2.5.8 様式-3(1):型 O4-1 概查調查票: 渓流護岸工

		1):型04- 獲岸エ>		D評価は様式			(個別施	設記録.	COLUMN TO SERVICE STATE OF THE PERSON STATE OF		地	すべ	-	方止施設機 度	能診断፤	周查			
点	検年	月日	1-1	天候			,	点検者											
2	<b>区域</b> 名	3		地すべりブ	ロック名			施設名	2					施工年度		年			
構	造/材	質				高さ		延長		(調査票番号:									
■3	見地码	確認事項																	
施	設状	況 種類	□ ふとん籠 □	片法枠 🛘	籠枠	ロブロ・	ック積みエ	ロコン	クリート擁壁	I		他		- 15	問題あり	į.			
湧	水状	況 湧水状	:況 □ 湧水あり			流量	(最大)		I/分水質·言	†測f	直等			- 8	問題あり	3			
観	測施	設計測器	名												問題あり				
= 1	部位 C	の変状レベ	ル 各項目で当ては	まる状況の番	号を記入	し、最も	悪い状態に	ついてレヘ	い判定する	· ŧ	177		7.11	C - (E - 180E) 8.E		_			
	I	種·部位	項目	状況			ない場合は		L 7 \		(	1)変		ベル	②部位 健全				
	10	M M ==	eren.	1.6	10000	-	その他の場	100000000000000000000000000000000000000	(6)	а	b	С	d	該当写真	(A~D				
			破損·欠損※		*****		•3.脱落•4.												
					2.10		流出(籠枠		(合)						-				
		護岸工	変位・変形※				ン・3.傾倒・4	元ト							-				
			腐食			ななど	の場合)			H									
本			洗掘		礎地盤	1 100 000	食・4.湧水・5	+#* *#: ### all	E エ ハ ナ キ ナ										
本体		_	施設背面の変	27/mg (H					回のりさま						*	-			
			破損·欠損※			- Street	·3.脱落·4.) 流出(籠枠		<b>르</b> 스)	H									
		床固めコ	変位・変形※				ル・3.傾倒・4		70/						-				
	ш	水田のユ	腐食		V V V V V V V	やエなど							-		1				
			洗掘		礎地盤	V-12-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00	07-31 LI /						-		-				
×.7	皮埍.	<b>欠损,</b> 亦位	・変形に裏込め土等			A 124 - Series .	いた建す	- L	1	- AL	=0 -	. Iva	^ =	( i ~ iv)		-			
健全度		エール	c :項目に挙げた到 d :項目に挙げた到 □ 施設機能に □ 施設機能に	現象・状況に対 に影響する変	し著しい 状があ	変状がある	The second second		Sept. Mily English F.	_	_	_	_	は機能低下	X 1 2 1 1 10 12	21.5			
	ν A =	T./T 24.	V + 7 98 10 84 1- 0 + 1	1117 FW#	/. ~ AF=0	LAT YER TO	0/- 1==-	<b>∓</b> 11 — F4	it = 0 = = .	4-	-2								
n	会会	の目安	当する選択肢にOを付 判断目安(原則		1220700	NATIONAL DES	2302012020100		2,1000	_	11.2	= 1 1	*, 1	爛に必ず記	1オス)				
T		問題なし	施設の健全度がi				200 10000	76'0 WE	11C 7 0 31 L	1100	±щζ		-1	1901 - 20: 7 AL.	769.001				
		監視	施設の健全度がii	100 100 100 100 100 100 100 100 100 100	20,000	4.5.		場合)								_			
*	軽	CHARLES TO BE	施設の健全度がiii	0.0155 000000000000000000000000000000000	A STATE STATES	1000-000	EDIT PLITS, NO P.									_			
T	補	修·更新	施設の健全度がiv	(部位の健全度で	Dがーつで	も含まれる場	場合)であり、	かつ要因	団が明らか	であ	る場	合べ	り対	応方法が明	月確な場	合			
T	要	詳細調査	施設の健全度がiv	であり、かつ	要因が	明らかで	でない場合	や対応方	法が明確	でな	い場	合							
	急対必要	400	【判断目安】①地すべりの再 や新たな変状 ②災害等でが破損 ③人的被害発生の	施設 1.1.															
		1/11/1	の目安に対するコン			の推定	総合証価の	<b>半// NF T用 cb</b>	笙										